

科目区分	総合文芸学科専門教育科目						
科目名	広報広告と社会／比較文化VB						
担当教員	西川 純司					科目ナンバ-	A32070
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	広告・広報（PR）活動の理解						
授業の概要	<p>広告・広報（PR）活動についての基本的な知識を習得することを目指す。私たちはふつう広告や広報を受け取る側において、それらがどのようにして制作されているのかを知る機会がほとんどない。しかし、広告や広報が私たちに届けられるまでには多くの人や組織が関わり、多大な時間とお金がかけている。この講義では、広告の分類や広告に関わる組織、広告表現、広告関連の法規や規制、広報の多様性など、広告・広報活動を理解するために必要な基礎的な知識を学ぶ。実際にテレビCMやネット広告、クリエイターの仕事、広報活動などを見ながら解説していく。</p>						
到達目標	<p>（1）広告や広報の送り手（広告主・広告会社）がどのような流れで広告・広報を制作しているのか、その実務的なプロセスについて体系的な知識を習得することができる。【知識・理解】</p> <p>（2）実際の広告物を専門用語を使って分析できる。【汎用的技能】</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 インTRODクシヨン</li> <li>2 広告とは何か</li> <li>3 マーケティングと広告</li> <li>4 広告主と広告会社</li> <li>5 広告費</li> <li>6 広告表現①：比較広告</li> <li>7 広告表現②：アートディレクターの仕事</li> <li>8 広告表現③：映画の予告</li> <li>9 広告媒体</li> <li>10 広告関連の法規と規制</li> <li>11 インターネット広告</li> <li>12 広報（PR）の基本</li> <li>13 地域社会と広報</li> <li>14 広告を楽しむ：広告鑑賞</li> <li>15 授業のまとめと小テスト</li> </ol>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>授業前学習： 各回授業で扱うテーマに関する広告を下調べする。（学習時間：2時間）</p> <p>授業後学習： 授業で取り上げた内容の要点を確認・整理する。（学習時間：2時間）</p>						
授業方法	講義形式。簡単なグループワークをする機会を設ける。						
評価基準と評価方法	<p>期末課題（レポート＋小テスト） 70%： 授業で学習した概念を理解し、それを踏まえたレポートが作成できているか評価する。到達目標（1）および（2）の到達度の確認。</p> <p>授業態度 30%： 各回提出のリアクションペーパーの内容・記述の的確さを評価する。到達目標（1）の到達度の確認。 なお、第14回にレポート検討会を実施し、レポート内容に対する評価をフィードバックする。</p>						
履修上の注意	2/3以上の出席に満たない者は、受験資格を失う。						
教科書	毎回プリントを配布する。						
参考書	<p>岸志津江・田中洋・嶋村和恵、『現代広告論 [新版]』、有斐閣、2008年</p> <p>日本パブリックリレーションズ協会編、『改訂版 広報・PR概論』、同友館、2012年</p>						

科目区分	総合文芸学科専門教育科目						
科目名	卒業研究						
担当教員	打田 素之					科目ナンバー	A04070
学期	通年／Full Year	曜日・時限	火曜3	配当学年	4	単位数	8.0
授業のテーマ	文芸作品の分析と研究						
授業の概要	各自の関心に応じて、文芸作品（メディア、サブカルチャー、文学、映画、演劇など）を取り上げ、自分の考えを論理的な文章にまとめる練習を行う。						
到達目標	①文芸作品を自らの力で解釈することができる。【汎用的技能】 ②先行研究を踏まえながら、作品を独自の視点から分析することができる。【態度・志向性】						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業計画の説明、卒論の書き方の指導</li> <li>2. 先行研究の探し方、発表の順番の決定</li> <li>3. 「はじめに」とテーマの説明 (1)</li> <li>5. 同 (2)</li> <li>6. 同 (3)</li> <li>7. 同 (4)</li> <li>8. 「第1章 具体例の紹介」の発表 (1)</li> <li>9. 同 (2)</li> <li>10. 同 (3)</li> <li>11. 同 (4)</li> <li>12. 「第2章 定説と先行研究の紹介」 (1)</li> <li>13. 同 (2)</li> <li>14. 同 (3)</li> <li>15. 前期のまとめ</li> </ol> <p style="text-align: center;">夏休みの課題： テーマに関連した文献を読む。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>16. 夏休みの課題報告 (1)</li> <li>17. 同 (2)</li> <li>18. 「第3章 定説に対する反論」の発表発表 (1)</li> <li>19. 同 (2)</li> <li>20. 同 (3)</li> <li>21. 同 (4)</li> <li>22. 「第4章 本論の発表」 (1)</li> <li>21. 同 (2)</li> <li>22. 同 (3)</li> <li>23. 同 (4)</li> <li>24. 「第5章 結論」の発表 (1)</li> <li>25. 同 (2)</li> <li>26. 同 (3)</li> <li>27. 同 (4)</li> <li>28. レジメの指導</li> <li>29. 口頭試問 1</li> <li>30. 口頭試問 2</li> </ol>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	テーマに関連した作品と批評、研究論文を読む。（30時間以上）						
授業方法	演習：以下の手順で進められる。 担当者の発表→教員による質問→受講生との質疑応答						
評価基準と評価方法	発表（25%）、平常点（25%）、卒業論文の内容（50%） 質問、内容評価は授業の前後、オフィスアワーで受け付ける。						
履修上の注意	資料の収集、先行文献の研究など、資料調査怠らないこと。						

教科書	なし
参考書	